

8/18～24 アジア人材育成プログラム「リードアジア」 日中24名の学生が東京に集い、課題に取り組む 日本を代表する民間企業も多数協力

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)日中交流センターは、日中学生交流連盟(Japan China Student Frontier Group)と共催にて、将来のアジアを担う人材を育成するプログラム「リードアジア」事業を実施します。

東京海上日動火災保険、資生堂、大和総研、大日本印刷、ソニー、川崎重工業、JTB、日本航空、リーディングマークなど日本を代表する企業の協力も得て、文化交流のみならず企業研修を取り入れたプログラムが特徴です。日中国交正常化から41年目を迎える今年、草の根レベルでの日本と中国の交流が着実に進展することも期待されます。

「リードアジア」～アジア人材育成プログラム～

Read Asia

- 日時 2013年8月18日(日)～24日(土)
- 参加人数 24名(日本人:10名・中国人留学生:6名・中国本土学生:8名)
- 場所 国立オリンピック記念青少年総合センター、下記協力企業本社、国際交流基金本部など
- 共催 日中学生交流連盟、国際交流基金日中交流センター
- 協力 桜美林大学孔子学院、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社資生堂、株式会社大和総研、大日本印刷株式会社、ソニー株式会社、川崎重工業株式会社、株式会社ジェイティービー、日本航空株式会社、株式会社リーディングマークほか

◆「リードアジア」プログラム

アジアを学び、精通することを表す「Read」と、将来アジアを導くことを表す「Lead」の両方の意味を持つ。文化交流に加えて企業研修を取り入れることで、もともと国際交流に興味がある学生や、中国に関心を持つ日本人学生、日本に関心を持つ中国人学生のみならず、より広範な学生の関心を引くプログラムとして企画されています。

◆日中学生交流連盟(Japan China Student Frontier Group)

日本と中国の交流活動に携わる9つの学生団体が共同で運営している連盟。2012年10月に発足し、日本と中国のパイプをより太くしていくために活動している。

(写真は連盟主催の討論会の様子)

